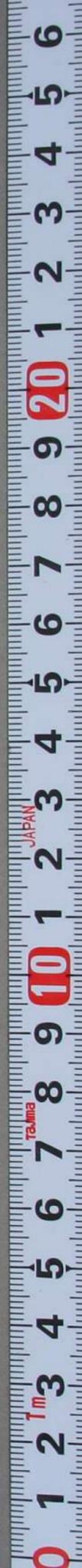


新板  
繪入

略縁記之家形氣三之卷

2015  
3





形氣  
家  
記  
編

三之三

目録

健利

第一

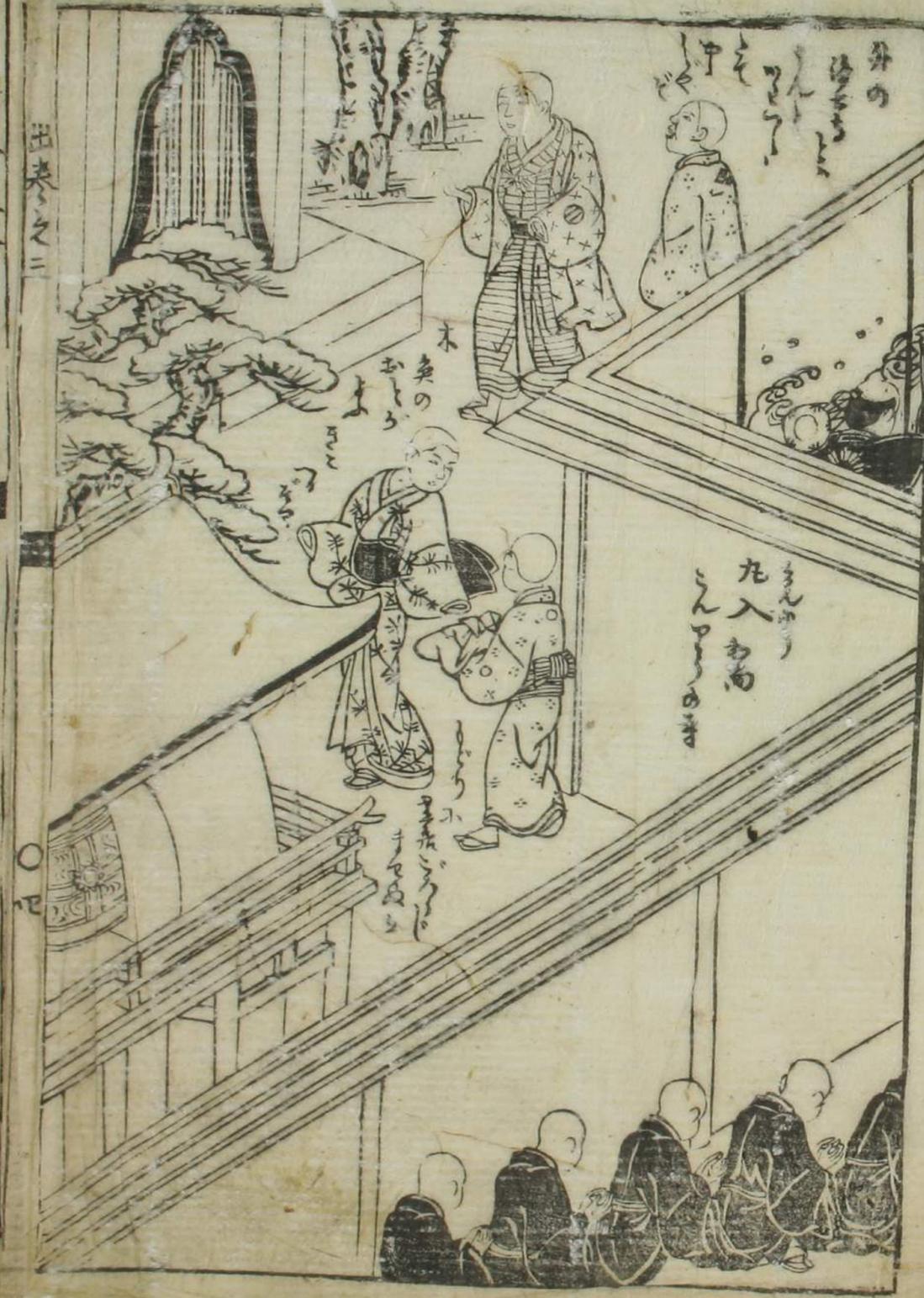
寄柳子釋道

中より一投有板が...  
南無宗山のかぶき...  
柳子...  
は...  
衣...  
...

門へ IS  
2015  
巻 3







出巻

舟の  
はまき  
かき  
かき

木の  
おの  
ま

丸入  
丸入  
丸入

丸入  
丸入  
丸入

舟の

丸入











るりゆきこと。近世志士ら此傳をいざし其主人も近代をがた語  
 したる歎入。あやどなゆよりいふ我教の心とまりと現物まで  
 一は佛又哲のひらきまゝの府のれをもあらししとが。程後の神主  
 高乃河とそらん。先へおきぬれをがく素の空布も下さるべき程  
 こゝろゆくとしを又いふ人の心持も勿神さけきべゆか止ぬ  
 俗神の勧とせされ下さる。板は神の心身づらうよまゝ其の  
 神と神教をせ。あはれいそ教とていげ下さるべと双方を  
 のり等とていそあやう。あはれいそ。まゝりあはれいそ。のり  
 近代ゆりとお教まで皆と替へてこれをいふ書はたがたかゝり  
 先は社会とあやう。仕得るをいふこと

いふこと終

